

# 尼崎市立学校の平成29年度いじめの 認知状況について



# 1 いじめの認知件数

平成29年度の認知件数は、小学校で116件、中学校で79件であり、それぞれ前年度と比べ、小学校57件の増加、中学校6件の減少となっており、特に小学校では、件数が倍増しており、目立つ結果となっている。これは、各学校が尼崎市いじめ防止基本方針及び各学校のいじめ防止基本方針に基づき、いじめを積極的に認知し、学校全体で組織的に対応していけるような取組みを進めていることが要因のひとつと考えられる。

なお、平成29年度の小中学校の認知件数195件のうち、いじめが解消したものが154件(小学校90件、中学校64件)(79.0%)、解消に向けて取組中が41件(小学校26件、中学校15件)(21.0%)となっている。

(単位：件)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		全国の 1,000人 あたり (H29数値)
	認知件数	1,000人 あたり	認知件数	1,000人 あたり	認知件数	1,000人 あたり	認知件数	1,000人 あたり	認知件数	1,000人 あたり	認知件数	1,000人 あたり	
小学校	18	0.8	19	0.9	75	3.4	50	2.3	59	2.7	116	5.4	49
中学校	22	2.1	35	3.4	54	5.4	31	3.1	85	8.6	79	8.1	25

## 2 いじめの態様

平成29年度のいじめの態様別では、小中学校ともに、「冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」の件数がもっとも多くなっており、前年度と比較しても小学校25件→76件、中学校39件→57件、さらに、構成比においても全国値を上回るポイントとなっている。「冷やかしゃからかい」というような項目の件数が増えていることから、「1 いじめの認知件数」で述べたように、いじめを積極的に認知しようとする取組みが進んでいることがうかがわれる。

そのほか、小学校では、全体的な件数の増加が見られるが、その中でも「その他」は構成比が全国値を上回る結果となっており、一方、中学校では、「その他」の件数が36件→17件と約半数まで減少し、全国値を下回っている。

(単位：件)

いじめの態様 態様の項目	平成27年度				平成28年度				平成29年度					
	小学校	構成比	中学校	構成比	小学校	構成比	中学校	構成比	小学校	構成比	全国	中学校	構成比	全国
冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	35	62.5%	25	51.0%	25	35.2%	39	40.6%	76	54.3%	50.8%	57	57.5%	54.9%
仲間はずれ、集団による無視	6	10.7%	7	14.3%	13	18.3%	7	7.3%	14	10.0%	11.8%	9	9.1%	11.1%
軽くぶつかる、遊ぶふりをして叩く、蹴る	6	10.7%	9	18.4%	14	19.7%	14	14.6%	20	14.3%	19.2%	16	16.2%	12.1%
その他 ・ひどくぶつかる、叩く、蹴る ・金品をたかられる ・金品を隠す、盗む、壊す、捨てる ・嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされる、させられる ・パソコンや携帯電話等での誹謗中傷等	9	16.1%	8	16.3%	19	26.8%	36	37.5%	30	21.4%	18.2%	17	17.2%	21.9%
合計（複数回答）	56	100.0%	49	100.0%	71	100.0%	96	100.0%	170	100.0%	100.0%	116	100.0%	100.0%

### 3 いじめの発見のきっかけ

平成29年度のいじめの発見のきっかけでは、前年度と変わらず、小学校では、「当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え」、中学校では、「本人からの訴え」がもっとも高くなっているが、件数では、小学校24件→48件で倍増しているの対し、中学校38件→34件と減少している。構成比で見ると、小学校40.7%→41.4%、中学校44.7%→43.0%と、ほぼ横ばいであった。

依然として、構成比は、小中学校ともに「学校の教職員以外からの情報により発見」が「学校の教職員等が発見」を大きく上回っており、さらに、前年度と比べても、小学校72.9%→80.2%、中学校77.6%→82.3%と増加している。また、この数字においては全国値と比較しても大幅に上回ることから、尼崎市においては「学校の教職員以外からの情報により発見」が多いのが特徴であることがわかる。

(単位：件)

いじめの発見のきっかけ		平成27年度				平成28年度				平成29年度					
		小学校	構成比	中学校	構成比	小学校	構成比	中学校	構成比	小学校	構成比	全国	中学校	構成比	全国
学校の教職員等が発見		22	44.0%	4	12.9%	16	27.1%	19	22.4%	23	19.8%	70.0%	14	17.7%	54.6%
内 数	学級担任が発見	18	36.0%	2	6.5%	11	18.6%	8	9.4%	15	12.9%	11.5%	11	13.9%	10.4%
	その他	4	8.0%	2	6.4%	5	8.5%	11	13.0%	8	6.9%	58.5%	3	3.8%	44.2%
	・学級担任以外の教職員が発見 ・アンケート調査など学校の取組により発見														
学校の教職員以外からの情報により発見		28	56.0%	27	87.1%	43	72.9%	66	77.6%	93	80.2%	30.0%	65	82.3%	45.4%
本人からの訴え		4	8.0%	6	19.4%	9	15.3%	38	44.7%	30	25.9%	16.1%	34	43.0%	24.3%
当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え		16	32.0%	19	61.3%	24	40.7%	23	27.0%	48	41.4%	9.4%	26	32.9%	13.7%
その他		8	16.0%	2	6.4%	10	16.9%	5	5.9%	15	12.9%	4.5%	5	6.3%	7.4%
・児童生徒(本人除く)からの情報 ・保護者(本人の保護者除く)からの情報 ・学校以外の関係機関(相談機関含む)からの情報 ・その他(匿名による投書など)															
合 計		50	100.0%	31	100.0%	59	100.0%	85	100.0%	116	100.0%	100.0%	79	100.0%	100.0%